

【東葛飾地域】平成30年度 飼料用米多収品種現地実証展示ほ 成績の概要

1 展示の概要

設置場所	柏市	品種	夢あおば
土性	埴壤土	播種日	4月2日
播種量	5kg/10a(乾田直播)	移植日	-
幼穂形成期	7月1日	出穂期	7月22日
成熟期	9月13日	収穫日	9月25日

2 結果の概要(成熟期の調査結果と収量)

稈長	80.4cm	穂長	23.5cm
穂数	311本/m ²	倒伏程度	0
粗玄米重	480kg/10a	標準単収値	507kg/10a

3 多収に向けた栽培管理のポイント及びその取組実績

(1) ほ場の土づくりの実施

- ・堆肥種類：BMようりん
- ・施用量：20kg/10a
- ・施用時期：平成30年2月6日

(2) 多収品種に必要な量の施肥 ※推奨量は、ページ下の参考のとおりです

- ・(基肥) N量：8.8kg/10a ※肥料銘柄：発酵鶏糞及び石灰窒素
 - ・(追肥) N量：2.8kg/10a ※肥料銘柄：高度化成
- 追肥実施日：7月9日

(3) 冷害を避けるための適期の移植

- ・移植日(5月中旬を推奨)：-

(4) 適切な栽植密度、植付本数で植え付ける

- ・栽植密度(55株/坪を推奨)：-(条間30cm)
- ・植付本数(4~6本/株を推奨)：-

4 考察等

部分的な雑草被害や紋枯病の発生があったため、実収量はやや低くなったが、坪刈り収量は634kg/10aであり、乾田直播によっても高い収量を得ることができた。

(参考) 多収品種に必要な施肥量

	夢あおば
基肥N量	9kg/10a(壤質土の場合)
穂肥N量	3kg/10a

※穂肥は、幼穂形成期(幼穂が1~2mmの時期)に施用します